

公共交通

バス交通の現状

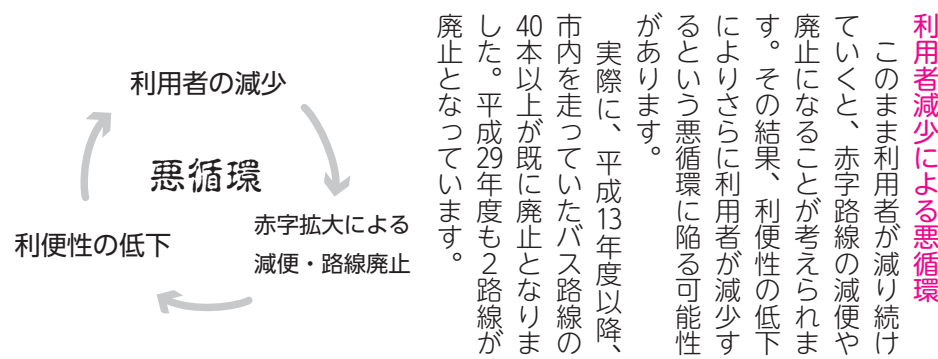
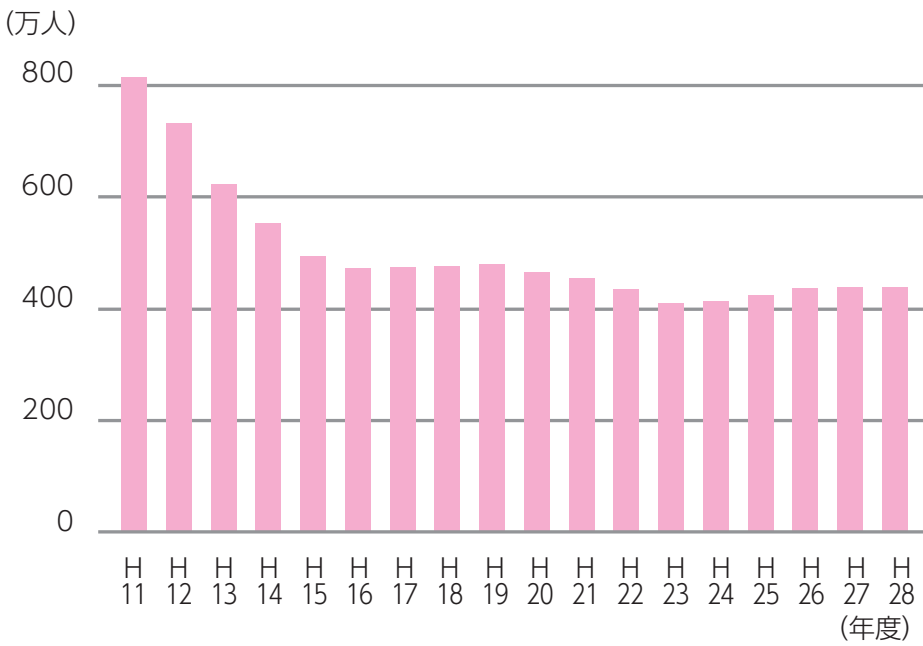
バスは、通勤通学や、病院、買い物などの交通手段として利用され、市民にとって欠かせないものとなっています。特に、自動車を運転できない学生や高齢者の生活にとって必要不可欠なものです。

しかし近年、バスの利用者は減少傾向にあり、全国でも採算の取れないバス路線の廃止などが相次いでいます。市でもバスの利用者は減少しています。

バス利用者数の推移

市内のバスの利用者数は平成16年度までの間に急激に減少し、その後少しずつ減少しています。平成28年度の利用者数は約437万人で、平成11年の約813万人と比べると半数ほどになっています。

市内のバス利用者数の推移



バスをもっと使いやすく！
バスを利用しよう！

問都市計画課 ☎826-1111 内線2370

市内のバス交通

路線バス

関東鉄道や、JRバスを中心に土浦駅、荒川沖駅、神立駅の鉄道駅を中心に30路線以上のバスが運行しています。



まちづくり活性化バス「キララちゃん」

中心市街地活性化を目的に運行するコミュニティバス。土浦駅を中心に3ルートを運行しています。

運行ルート／市民会館循環、亀城公園循環、霞ヶ

市の取り組み

市では、「土浦市地域公共交通網形成計画」を策定し、持続可能な交通網形成を推進するため、様々な取り組みを行っています。その中でバス路線の維持や、利用促進に向けた取り組みの事例を紹介いたします。

バスの乗り方教室の実施

バス利用促進を図るとともに、子どもたちが安心してバスを利用できるよう、バス内でのマナーや乗降の仕方などについての教室を、主に小学校を対象に実施しています。



バスの乗り方教室の様子

公共交通情報サイトの開設

利用者にとってわかりやすい情報提供をするため、市内の公共交通の情報をまとめたホームページ「つちナビ」を開設しました。路線図や各バ

ス停の時刻表、JR 駅バス乗り場から市内主要施設への乗車方法などの情報を掲載することで、バスの利用促進を図っています。



マイ時刻表サービスの実施

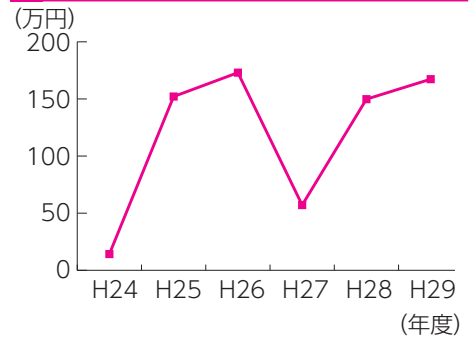
乗車するバス停から、行きたい場所までの、発車時刻、乗り換え場所、到着時刻、乗車料金などをまとめたマイ時刻表を提供し、乗車方法をわかりやすく案内することで、バスの利用しやすい環境を整えます。県内の市町村では初の試みです。

バス運行対策費の補助

市では、平成24年度から国、県と共に平均乗車密度5人未満のバス路線に対し、運行経費の補助を行っています。利用者の減少により経営状況が赤字となった路線に公的支援を行うことにより、地域が必要とする路線を維持・確保し、バスの利便性の向上を図っています。

※平均乗車密度とは、バス1便あたりの平均利用者数で、始点から終点まで平均して常時バスに乗っている人数のこと。

バス運行対策費市負担金の推移



バス交通をなくさないために

現在バスを利用している人のため、また、将来加齢により運転がなくなった時のためや、未来の学生のため、路線バスはなくてはならない重要な交通手段です。バス交通を維持するためには市民の方々がバスの重要性を認識し、積極的にバスを利用する

マイ時刻表サービスの申し込みについて

申込方法／申込用紙に必要事項を記入し、ファクス (FAX 826-3401)、郵送、または都市計画課、高齢福祉課、各支所・出張所へ直接

※申込書は都市計画課、高齢福祉課、1階総合案内、各支所・出張所で配布、または市ホームページからダウンロードしてください。

提供方法／申し込みから2週間程度で郵送



浦循環
運行日／毎日
運賃／150円(障害者、小学生は80円)



霞ヶ浦広域バス

土浦駅から土浦協同病院を経由し、玉造駅まで運行する路線バスで、土浦市、かすみがうら市、行方市の沿線3市で運行を支援しています。

運行ルート／土浦駅～土浦協同病院～玉造駅
運行日／毎日
運賃／160円～700円(障害者、小学生は半額)

